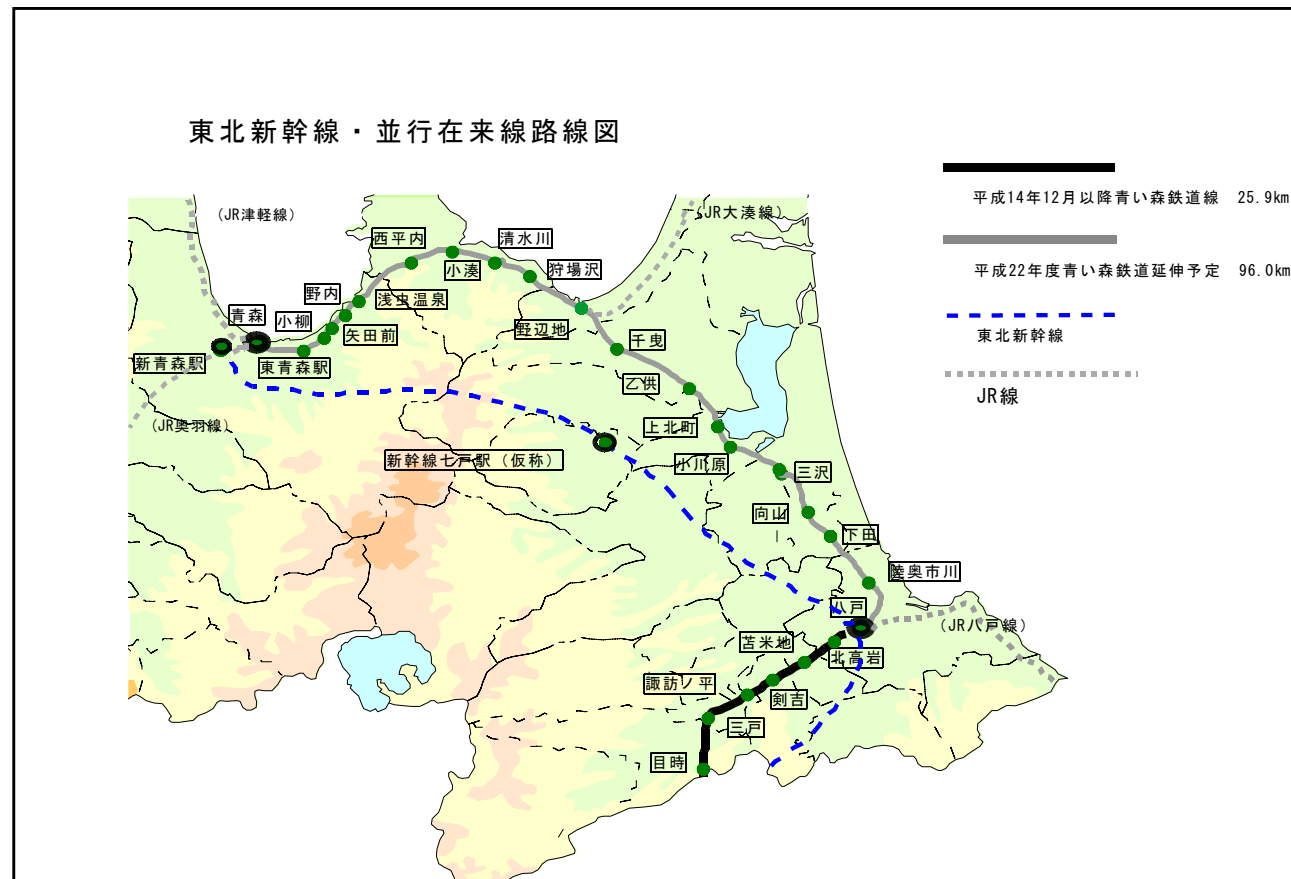


北海道旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 中島 尚俊 殿

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 清野 智 殿



要 望 書



寝台特急列車「北斗星」減便に係る影響緩和について

記

平成20年3月15日のJR各社ダイヤ改正により、青い森鉄道線を走行する寝台特急列車「北斗星1、4号」の運転が取り止めとなることが発表されました。

JR旅客会社の寝台特急列車が並行在来線上を走行することについては、東北新幹線八戸駅開業に伴い並行在来線盛岡・八戸間が経営分離された際、並行在来線に対する各種施策の一環として実施された経緯があります。

このため、JR旅客会社の寝台特急列車走行による運賃等収入は、経営分離に際して策定した青い森鉄道株式会社の経営計画の根幹を成しており、この収入が大きく変動することは、並行在来線の現行経営スキームに重大な影響を及ぼすこととなります。

つきましては、今回のダイヤ改正により、並行在来線上を走行する寝台特急列車の運賃等収入に影響が生じないように、下記の諸対応の実施を要望いたします。

- 1 既存寝台特急列車の利用促進や車両の増結あるいは臨時便の運行等
- 2 並行在来線を対象とするJR企画商品の拡大・新設
- 3 特急料金の増額又は寝台料金の新設等

平成20年2月25日
(平成20年3月5日)

青い森鉄道株式会社代表取締役社長 小枝 昭

青森県企画政策部長 関 格